

図3

MSMウェブサイト向けバナーの作成

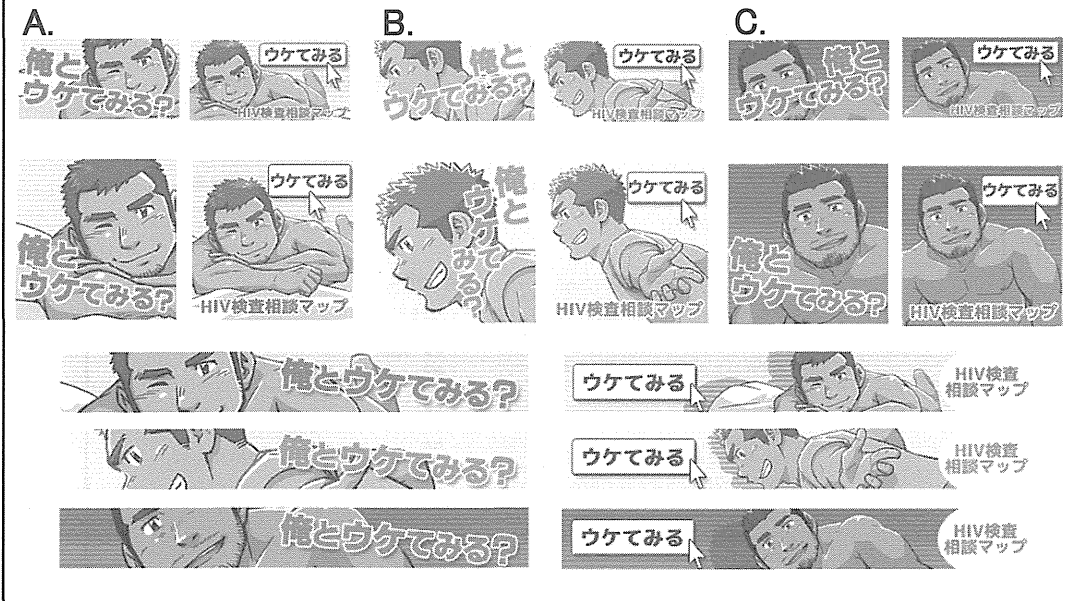


図4

修正・追加箇所(2013年)

外国語での電話相談窓口リスト作成(8か国語)

Day	Hour	Telephone	Center of Attention
2nd, 4th, 6th	9:00 - 17:00	03-5255-0055	AMDA-Centro Internacional de Informação Médica de Tóquio
2nd, 4th	10:00 - 17:00	050-6054-0501	ERIKATEVDS (Portuguese, Spanish)
2nd	10:30 - 14:30	06-4325-0555	AMDA-Centro Internacional de Informação Médica
3rd	10:00 - 20:00	06-6354-5901	CHARM (Spanish, Portuguese, English)

Language	Phone Number	Center Name
English	03-5255-0055	AMDA 国際電話相談センター東京 (英語・英語・英語)
Spanish	06-4325-0555	AMDA 国際電話相談センター東京 (中国語)
Portuguese	06-4325-0555	AMDA 国際電話相談センター東京 (中国語)
Tagalog		
Thien Vieu		

図5 Facebook, Twitterのシェアボタン設置 (2013年)



図6 サイトアクセス数 (2003-2014年)

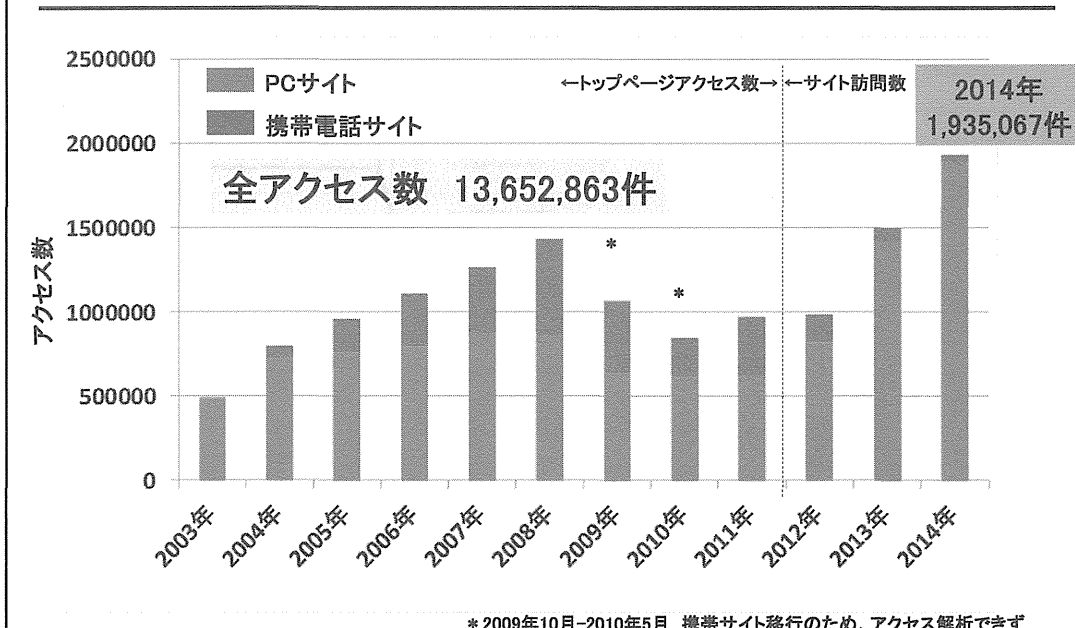


図7

キャリア別訪問数の推移(2010-2014年)

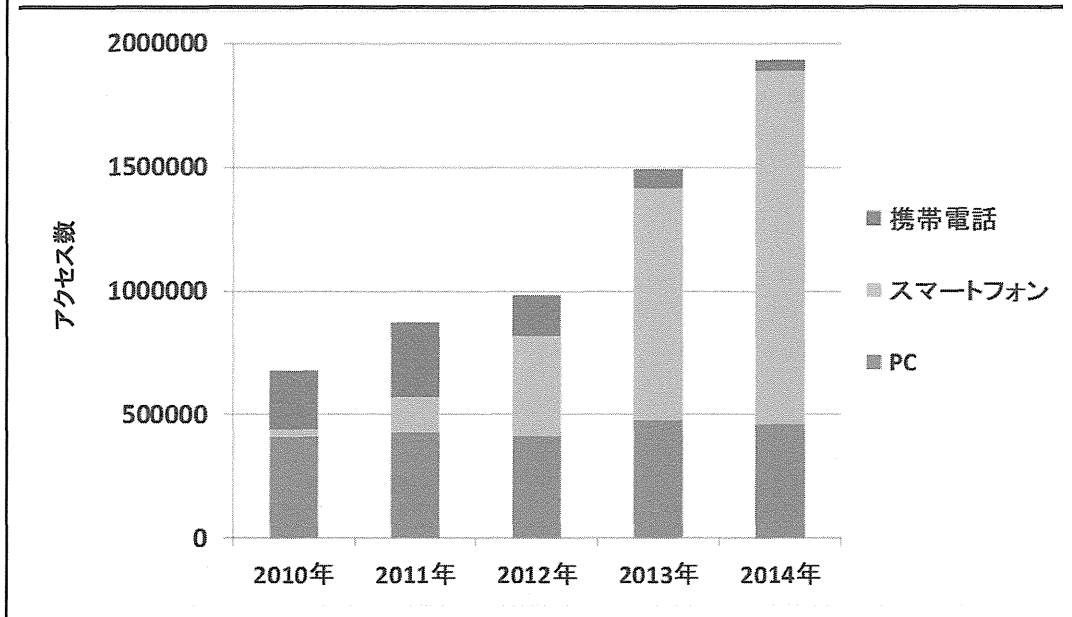
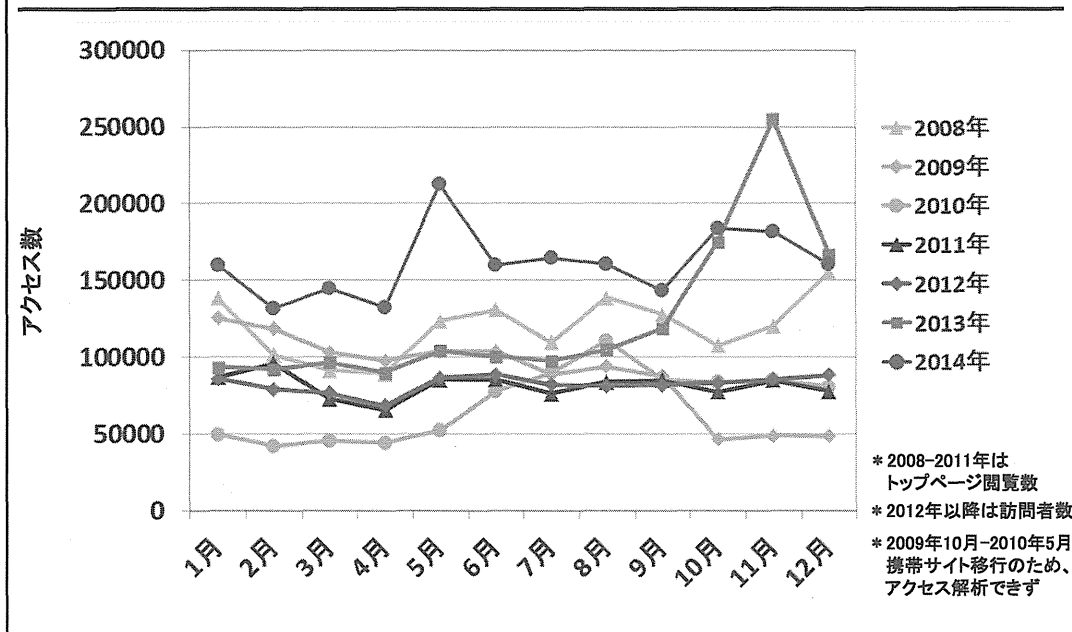


図8

月別アクセス数の推移 (PC+携帯:2010~2014年)



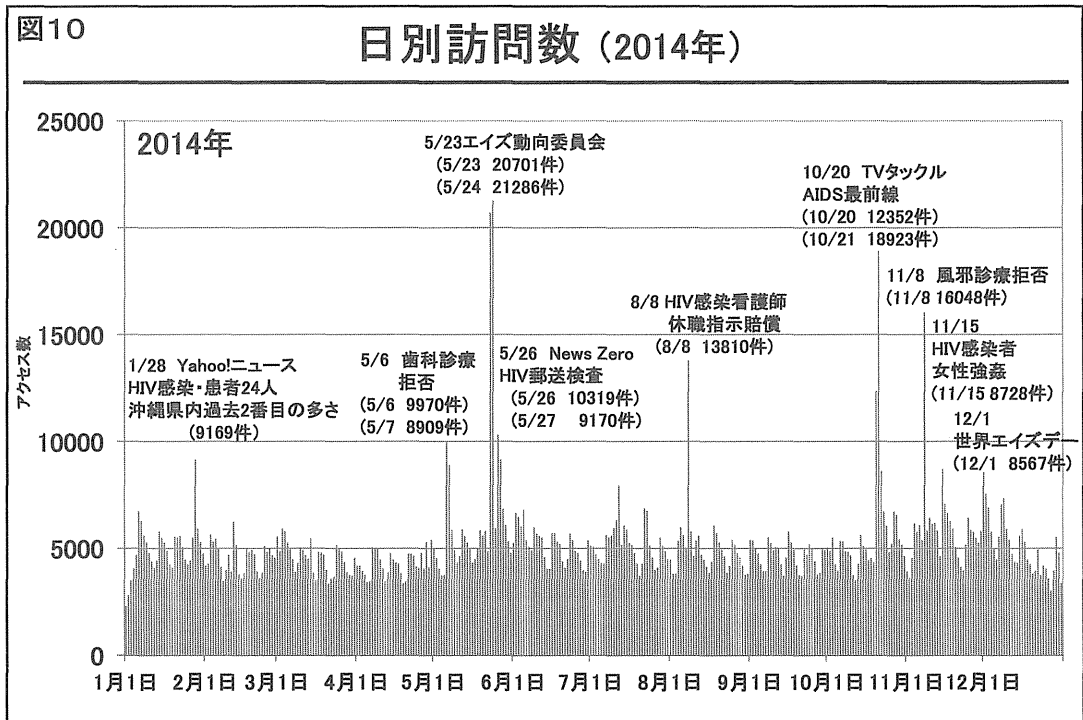
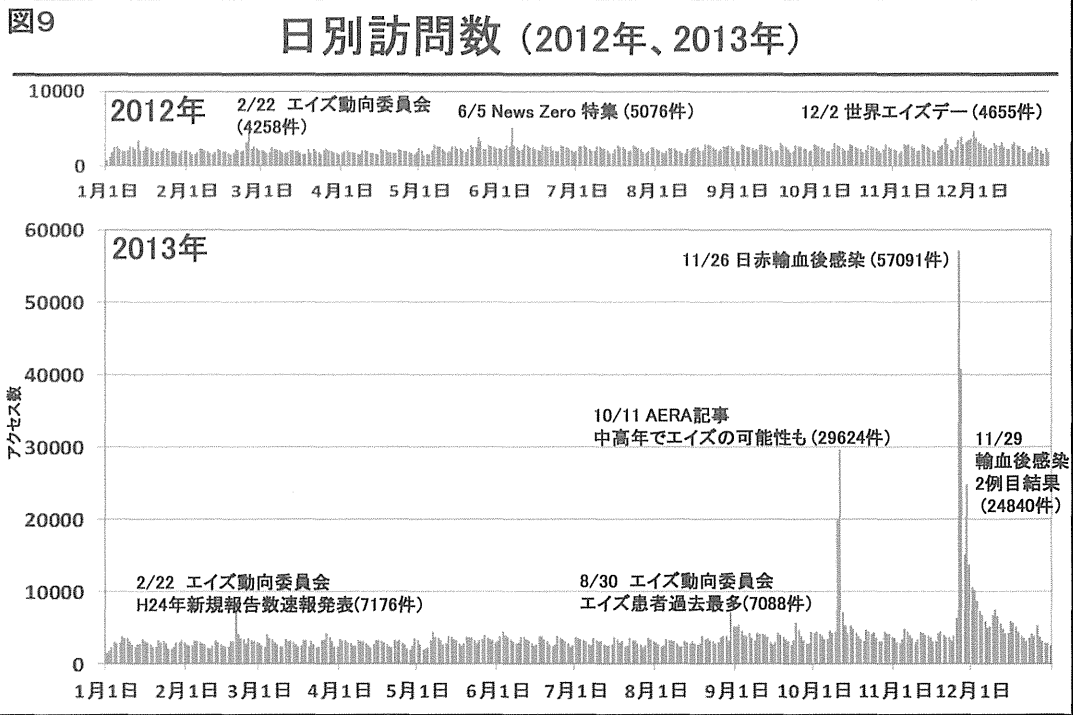


図11 エイズ動向委員会発表の新聞報道とアクセス数

発表年月日	四半期順位		年間順位		見出し(読売)	見出し(朝日)	見出し(毎日)	発表後アクセス数
	感染者	AIDS患者	感染者	AIDS患者				
H21.2.18	2位	4位	1位	1位	昨年のエイズ感染・発症最多50歳以上は1.2倍/厚労省	HIV感染者、過去最多08年、1113人に	HIV:国内新規感染者、昨年速報1113人-6年連続過去最多	10535
H21.6.17	8位	2位	(1位)	(1位)	エイズ感染・発症 昨年、最多1557人		HIV:エイズ患者が最多更新-08年	7962
H21.9.25	7位	4位					HIV:検査2割減 保健所インフル対策で-4~6月	1995
H21.11.24	9位	12位			エイズ検査件数 大幅減 新型インフル流行影響か		HIV:検査、3年間で最少 新型インフル関心高く-7~9月	2531
H22.2.12	12位	24位	3位	2位	HIV新規感染者減少		HIV:新規感染、1008人 7年ぶりに減少-09年	1633
H22.5.27	15位	15位	(3位)	(2位)	HIV検査件数15%減	09年エイズ患者、431人 厚労省発表		1630
H22.8.13	8位	1位			エイズ患者 過去最多に	エイズ患者、新たに129人 4~6月、過去最多	エイズ:発症129人-4~6月	3489
H22.11.29	9位	7位				HIV感染者、国内では増加 厚労省まとめ	ファイル:エイズ抗体検査、件数 持ち直す	2577
H23.2.7	1位	4位	3位	1位	エイズ患者最多 昨年新たに453人 検査・相談数は減少	昨年発症のエイズ患者、最多453人 感染者も増加傾向	エイズ:新規患者、最多に	6575
H23.5.23	16位	6位	(3位)	(1位)	エイズ発症 昨年469人過去最多		エイズ:患者、過去最多に	4343
H23.9.27	21位	1位			エイズ患者新たに136人		エイズ:4~6月の新規患者、 過去最多の136人	3954
H23.11.25	9位	14位			エイズ感染者 新たに265人			1922
H24.2.24	2位	16位	5位	2位	エイズ患者数が過去最高の可能性 昨年速報値			4256
H24.5.24	17位	19位	(5位)	(1位)	エイズ発症、昨年最多473人	エイズ患者、2年続けて最多	エイズ:新規患者が過去最多	3421
H24.8.24	-	-			エイズ感染者 新たに225人			1634

図12 PCサイト 検索条件別アクセス数 (2012年)

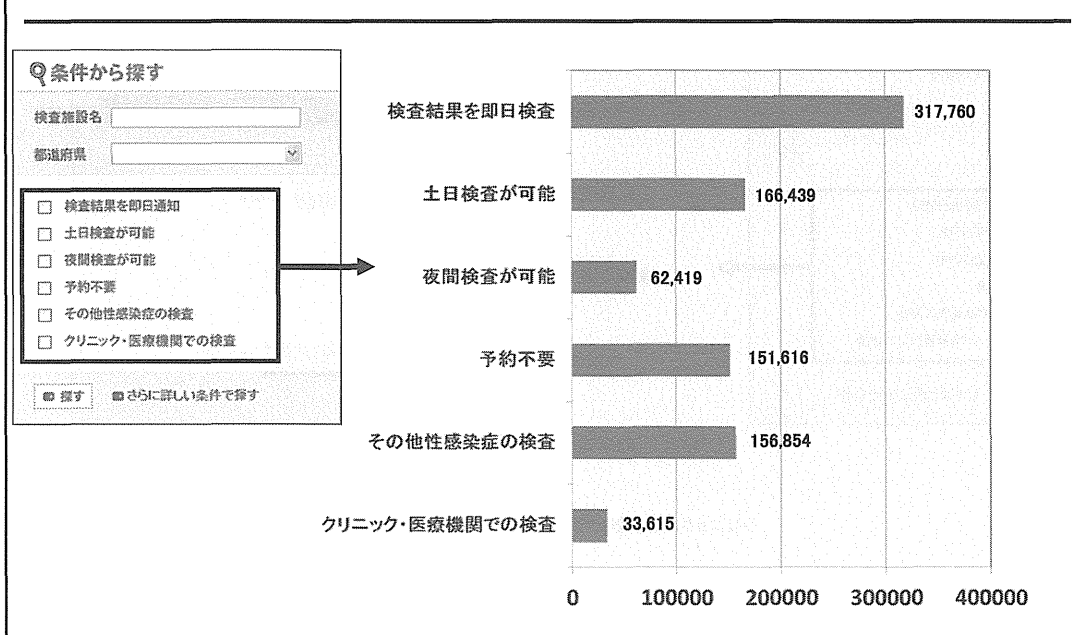


図13

PCサイト 検索条件別アクセス数 (2013年)

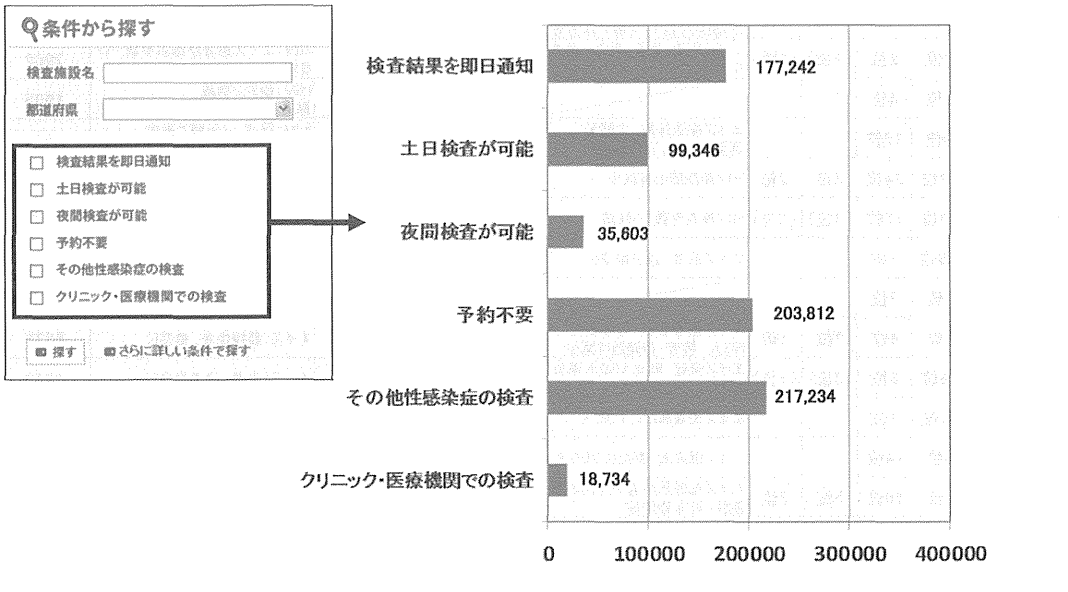


図14

PCサイト 検索条件別アクセス数 (2014年)

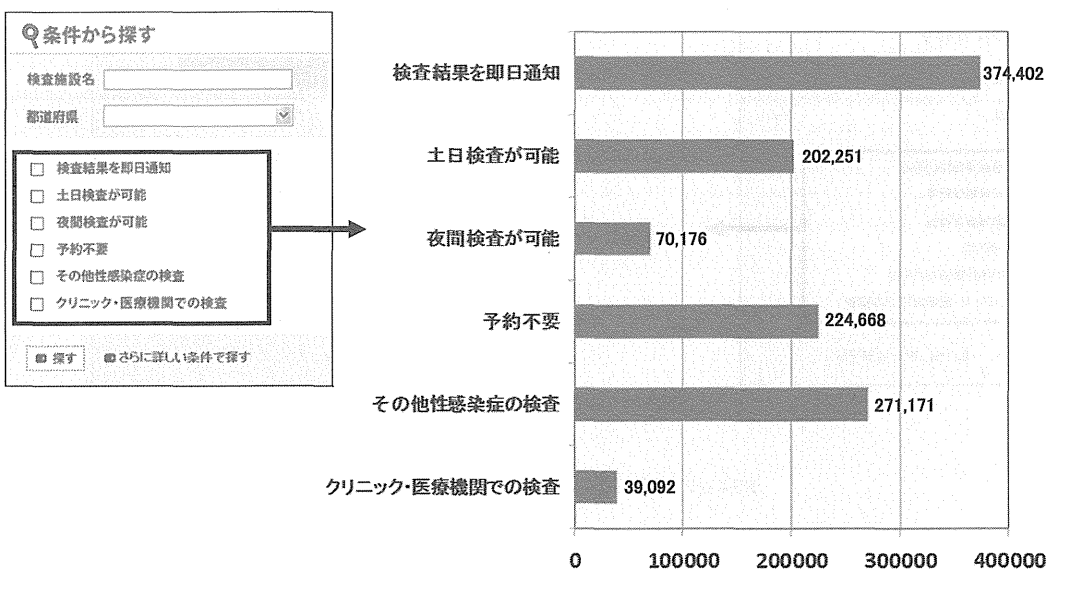


図15

PCサイト 検索都道府県別アクセス数 (2012年)

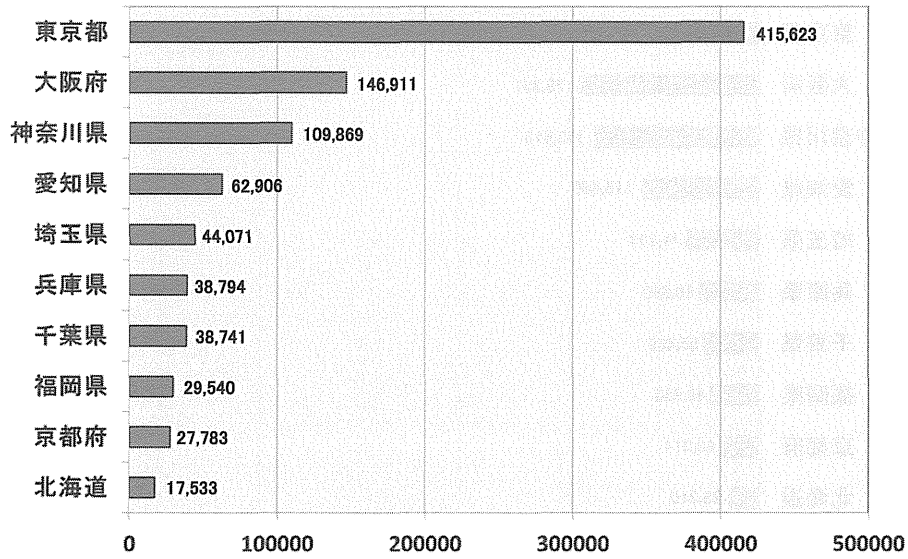


図16

PCサイト 検索都道府県別アクセス数 (2013年)

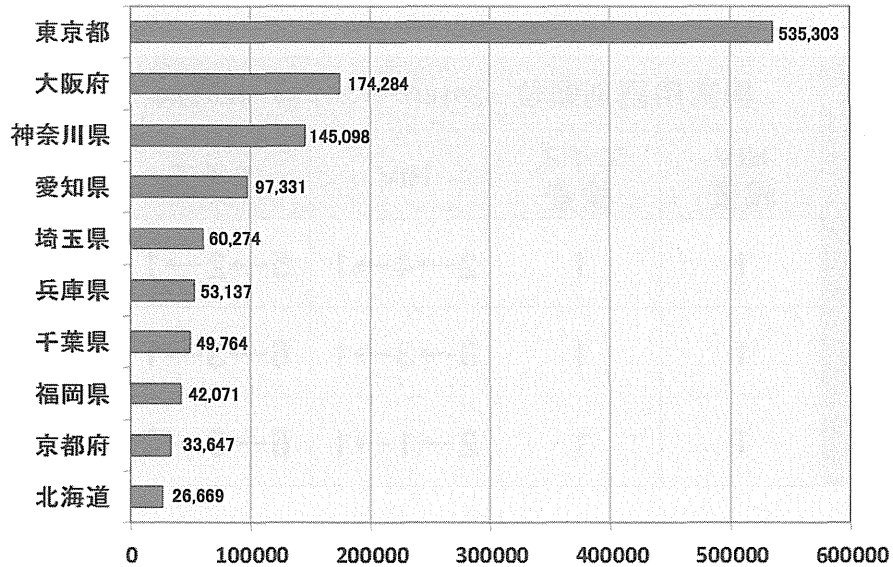


図17

PCサイト 検索都道府県別アクセス数 (2014年)

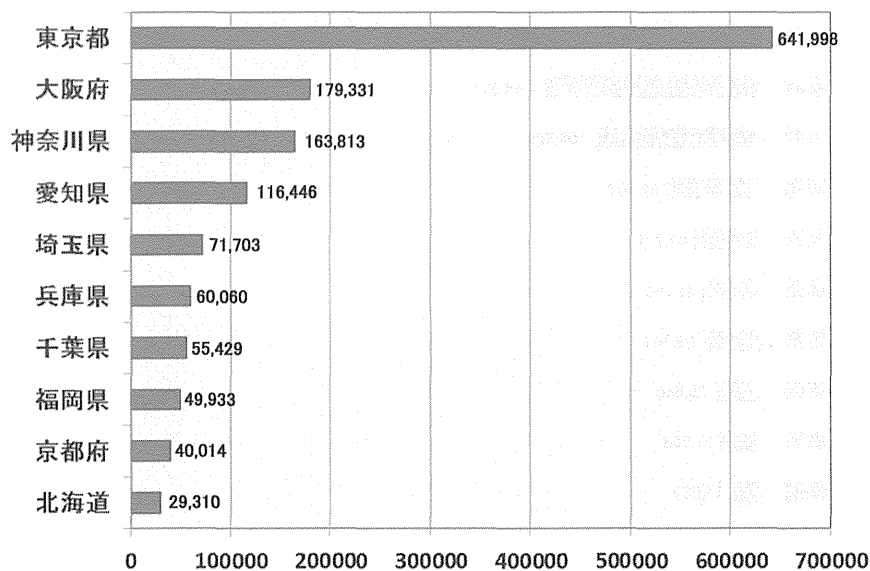


図18

検索エンジン 検索用語別表示順位

検索エンジン	検索用語別順位 (2012年→2013年→2014年:各年11月)				
	HIV検査	エイズ検査	HIV	エイズ	AIDS
Google	1	1	2→4→1	5→2→1	8→7→6
Yahoo! JAPAN	1	1	3→3→1	6→3→1	9→11→6
bing	1	1	2→1→1	6→3→3	10→4→9

図19

参照元からのアクセス数 (2014年)

	参照元/メディア	アクセス数
1	Google 検索	843,960
2	Yahoo! JAPAN 検索	549,060
3	Direct access	258,168
4	ドコモ 検索	40,883
5	Yahoo!ニュース・知恵袋 リンク	40,420
6	はじめての性病検査 リンク	28,023
7	bing 検索	18,484
8	au 検索	12,769
9	HIV感染症(エイズ)の検査・ 症状100問100答	5,965
10	ko-mens.tv	5,924

図20

問い合わせ件数・内容 (2012年)

2012年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ	40件
受検した検査施設の不安や苦情 (注射針、検査結果の信頼性、検査施設の対応)	10
掲載情報の内容について	6
感染リスクからの検査時期	5
HIV感染不安(陰性エイズ、グループP)	5
HIV検査への提言(即日検査、夜間・土日検査、宣伝)	4
HIV検査を受けるにあたっての質問 (地元以外の検査、保険証、検査費用、NAT、薬)	3
電話相談への苦情	1
郵送検査の不安	1
掲載内容の転載依頼	1
その他	4

図21

問い合わせ件数・内容 (2013年)

2013年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ	50件
受検した検査施設の不安や苦情 (注射針、手袋、検査結果の信頼性、検査施設の対応)	11
HIV検査を受けるにあたっての質問 (地元以外の検査、保険証、検査費用、NAT、薬、生理中)	10
掲載情報の内容について	8
感染リスクから検査までの期間による結果解釈について	7
性的接触による感染リスクについて	6
性感染症検査を受検したい	5
バナー依頼	2
献血の検査体制について	1

図22

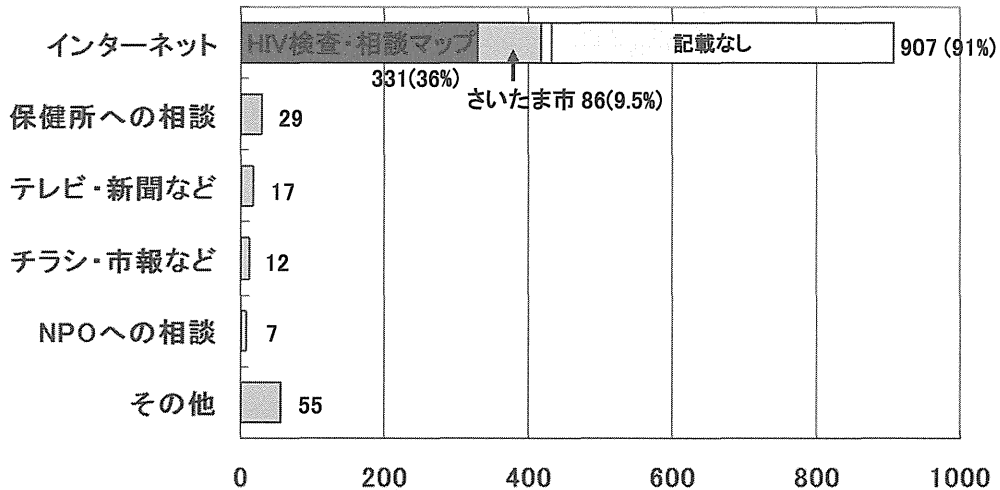
問い合わせ件数・内容 (2014年)

2014年 「HIV検査・相談マップへの」問い合わせ	35件
HIV検査を受けるにあたっての質問 (地元以外の検査、保険証、検査費用、NAT、薬、生理中)	7
掲載情報の内容について	7
受検した検査施設の不安や苦情 (注射針、手袋、検査結果の信頼性、検査施設の対応)	5
感染リスクから検査までの期間による結果解釈について	4
性的接触による感染リスクについて	4
リンク・アドレス紹介依頼	4
性感染症検査を受検したい	3
献血の検査について	1

図23 受検者アンケート調査結果(さいたま市日曜検査)

さいたま市HIV(エイズ)即日検査相談室(第二日曜日:予約制)
受検者数1012件、アンケート回収数 999件(2011年度)

Q.この即日検査のことはどこでお知りになりましたか？(複数回答可)

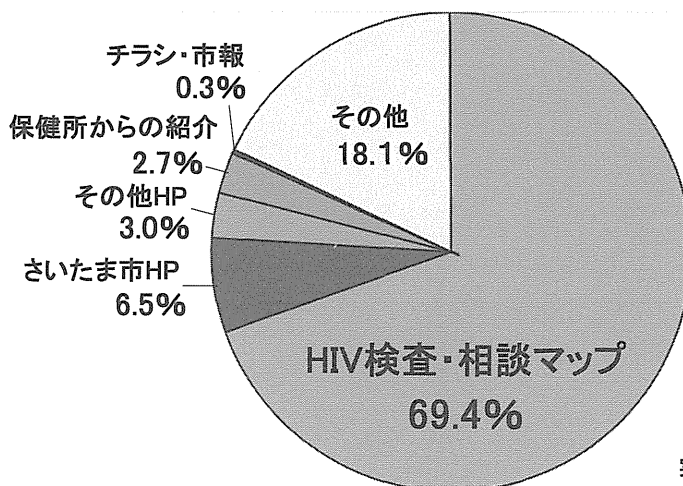


実施団体: NPO法人アカーよりデータ提供

図24 検査予約時の聞き取り調査結果(さいたま市日曜検査)

さいたま市HIV(エイズ)即日検査相談室、電話予約受付時に聞き取り 370件(2012年4-6月)

Q.この即日検査のことはどこでお知りになりましたか？

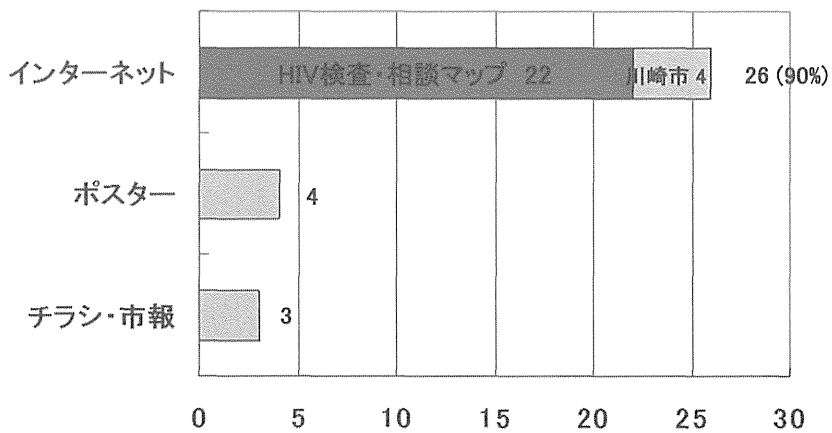


実施団体: NPO法人アカーよりデータ提供

図25 受検者アンケート調査結果(川崎区検査イベント)

川崎市川崎区役所保健福祉センター
検査イベント(平成24年7月31日火曜日:予約制) アンケート回収数 29件

Q.何を見て申し込みましたか？(複数回答可)



川崎市川崎区役所保健福祉センターよりデータ提供

図26 HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H26年度)

Q. ホームページ「HIV検査・相談マップ」を
ご覧になったことはありますか？

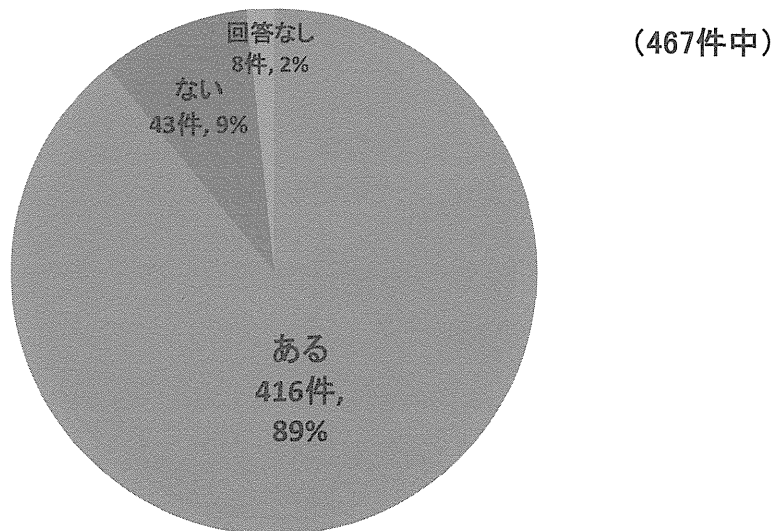


図27

HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H26年度)
「HIV検査・相談マップ」は検査相談事業に
役立っていると思いますか？

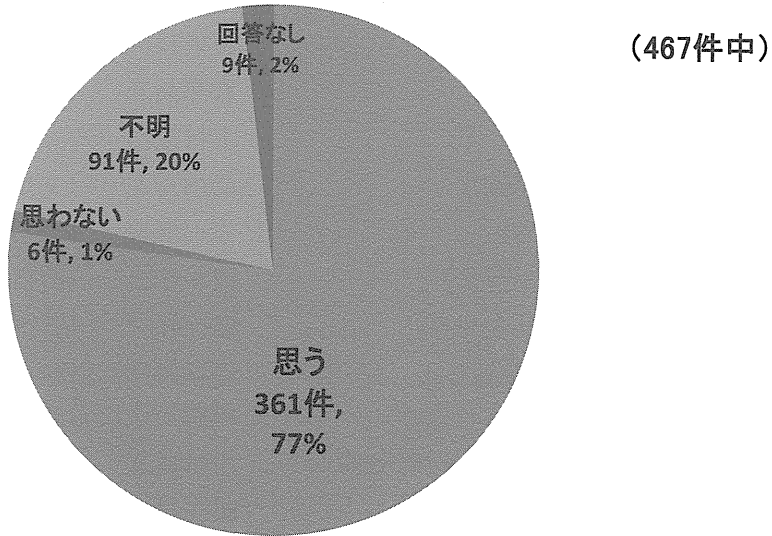
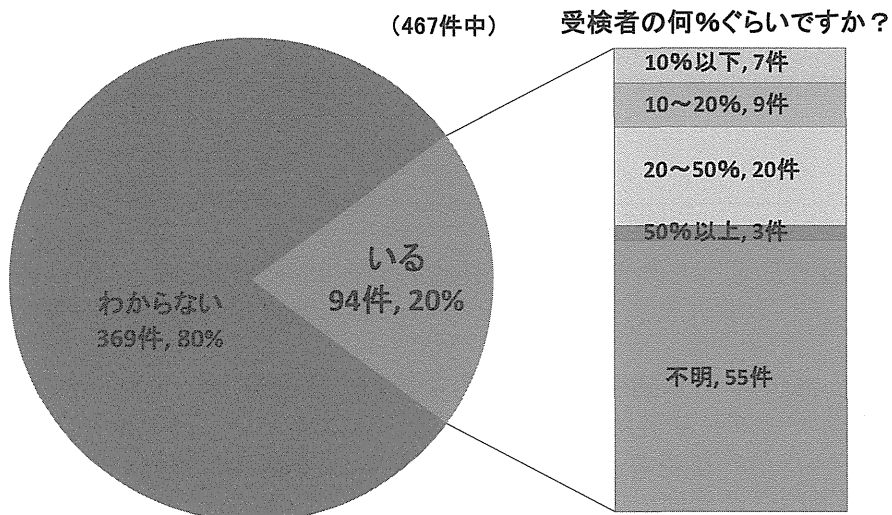


図28

HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査(H26年度)
「HIV検査・相談マップ」から情報を得て
受検された方はいらっしゃいますか？



11. 民間クリニックへの HIV 即日検査の導入支援および実施状況の解析

研究分担者 井戸田一朗（しらかば診療所）

研究協力者

小林米幸（小林国際クリニック）	尾上泰彦（宮本町中央診療所）
古林敬一（そねざき古林診療所）	大里和久（大里クリニック）
尾関全彦（尾関皮膚泌尿器科）	岩澤晶彦（岩澤クリニック）
保科眞二（保科医院）	上村茂仁（ウィメンズクリニックかみむら）
安田晶子（吉尾産婦人科医院）	江畑貴文（文化村通りクリニック）
多和田俊保（たわだ泌尿器科）	立山啓悦（ひろクリニック）
山中 晃（新宿東口クリニック）	清水康弘（新宿山の手クリニック）
山口眞澄（池袋山の手クリニック）	鷺山和幸（さぎやま泌尿器クリニック）
谷口 恭（太融寺町谷口医院）	根岸昌功（ねぎし内科診療所）
白川裕一（八重洲山の手クリニック）	西原 仁（関内マリソクリニック）
清滝修二（セントラルクリニック伊勢崎）	川嶋敏文（川嶋泌尿器・皮膚科医院）
中村幸生（中村クリニック）	新井律夫（新井医院）
操 裕（操健康クリニック）	小田島純（新吉原診療所）
高橋雅弘（葉院高橋皮ふ科クリニック）	吉川琢磨（よしかわ耳鼻咽喉科）
小田健司（おだ内科クリニック）	角井 徹（すみいクリニック）
石川英二（石川クリニック）	伊藤 晋（あいクリニック）
黒須 譲（プライマリーケア東京クリニック）	内田千秋（あおぞらクリニック）
東條龍太郎（東條ウィメンズクリニック上大岡）	杉山 肇（東上野クリニック）
中山保世（東新宿こころのクリニック）	楠山弘之（永弘クリニック）
熊谷振作（熊谷クリニック）	松村健太郎（渋谷山の手クリニック）
澤畑一樹（三菱化学 BCL）	近藤真規子（神奈川県衛生研究所）
佐野貴子（神奈川県衛生研究所）	川畑拓也（大阪府立公衆衛生研究所）
濱崎光宏（福岡県保健環境研究所）	須藤弘二（慶応義塾大学医学部）
今井光信（田園調布学園大学）	加藤真吾（慶応義塾大学医学部）

研究要旨

HIV 検査希望者にとって利便性が高い検査相談体制の一つである「即日検査」について、民間クリニックへの導入支援を行うとともに、実施施設での検査数、陽性数等の動向を調査した。

2012 年から 2014 年で 9 箇所の新規導入を行い、研究協力クリニックは合計 41 箇所となった。3 箇年での即日検査は 73,619 件、陽性数は 271 件（陽性率 0.37%）であった。検査数はクリニックの新規導入により年々増加し、2014 年は 2012 年に比べて 14%増加したが、陽性率はほぼ横ばいであった。

クリニックにおける確認検査陽性例の結果受け取りや医療機関の受診状況は、陽性例 271 例中 254 例（94%）が確認検査の結果を受け取っており、そのうちの 92%は受診把

握もされていた。多くの陽性者を早期の HIV 治療に結びつけたことは、検査提供施設として十分な役割を果たしていると考えられる。

民間クリニックは有料であるにも関わらず、医療機関という安心感や場所・受付時間等の利便性の良さから多くの検査希望者が即日検査を受検していると思われる。また、STI クリニックは他の性感染症に罹患している人も多く来院し、医師が直接患者を診察することで HIV の早期発見に繋がる可能性が高いことから、医療機関における即日検査の導入は非常に効果的と考える。

A. 目的

HIV 検査希望者にとって利便性の高い HIV 検査体制を構築することを目的として、民間クリニックへの即日検査の導入支援を行うとともに、実施施設における検査数や陽性数等の動向および陽性者のフォロー体制等を調査する。

B. 方法

HIV 検査に理解のある民間クリニックと連携して即日検査の導入支援を行った。新規の研究協力クリニックには直接訪問し、即日検査の説明や迅速検査キットのデモンストレーションを実地で行った。また、ホームページ「HIV 検査・相談マップ」に掲載するとともに、即日検査の判定保留例については確認検査等のフォローアップを行った。

研究協力クリニックには検査数等の報告を依頼し、年次動向を調査した。また、確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等の状況、使用検査試薬および検査費用等の把握のためのアンケート調査を実施した。

C. 結果

2013年に2箇所、2014年に7箇所、計9箇所のクリニック（仙台1箇所、東京5箇所、神奈川1箇所、埼玉2箇所）に即日検査の導入支援を実施し、研究協力クリニックは合計41箇所（札幌2箇所、仙台1箇所、群馬1箇所、埼玉3箇所、東京15箇所、神奈川6箇所、岐阜1箇所、愛知1箇所、京都1箇所、大阪4箇所、神戸1箇所、岡

山1箇所、広島2箇所、福岡2箇所）となった（図1）。クリニック別では、婦人科クリニックが3箇所、女性専門STIクリニック1箇所、その他クリニック（主にSTIクリニック）が37箇所であった。クリニックでの即日検査導入を開始した2001年から2014年までの総検査数は218,180件、陽性数は975件（陽性率0.45%）となった（図2）。

即日検査数は、2012年は22,481件、2013年は25,435件、2014年は25,703件であり、2014年は2012年に比べて14%増加した（図3）陽性数は、2012年は93件（陽性率0.41%）、2013年は87件（陽性率0.34%）、2014年は91件（陽性率0.35%）とほぼ横ばいであった。偽陽性率は2012年0.36%、2013年0.20%、2014年0.18%と年々減少しており、陽性的中率は2012年54%、2013年63%、2014年66%と向上していた（図4）。

その他クリニック（主にSTIクリニック）のみで集計すると、検査数は、2012年に比べて2014年は7%の増加が見られたが、陽性率はほぼ横ばいであった（図5）。東京におけるその他クリニック（主にSTIクリニック）では、2012年に比べて2014年は16%の増加が見られたが、陽性数は13%減であり、陽性率は2012年が0.81%であったのが、2014年は0.60%と0.21ポイント減となった。（図6）。

2012-2014年の検査数および陽性数を、女性の感染不安者や性産業従事者（CSW）の定期検診が中心の婦人科クリニック・女性STIクリニックとその他クリニック（主にSTIクリニッ

ク) とに分けて解析した (図7-9)。婦人科クリニック・女性STIクリニックでは、検査数が22,664件で、全例が陰性であった。その他クリニック (主にSTIクリニック) では、検査数50,955件で、陽性数は271件 (陽性率0.53%) であり、性別では、男性の検査数は39,761件、陽性数265件 (陽性率0.67%)、女性では検査数が15,339件、陽性数は6件 (陽性率0.04%) であった。

陽性者271例の性別・国籍は、日本国籍男性が243例(89.7%)、日本国籍女性4例(1.5%)、外国籍男性21例 (7.7%)、外国籍女性2例 (0.7%)、国籍不明男性が1例であった (図10-12)。

確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出状況等についてのHIV検査に関するアンケート結果では、陽性271例中254例 (94%) が確認検査結果を受け取っていた。このうち85例は自施設で経過観察、149例は紹介医療機関への受診が確認されており、合わせて234例 (92%) については結果通知後の経過が把握されていた。また、保健所への届出は、235例 (87%) が自施設から行っていた。

2014年のアンケート結果では、施設別のHIV検査陽性者のフォロー状況については、41箇所の研究協力クリニックのうち、拠点病院への紹介を行っているクリニックが33箇所、自施設で経過観察 (症状が悪化した場合は拠点病院へ紹介) が8箇所であった (図13)。保健所への発生動向調査の届出については、届出を行っているクリニックが28箇所、紹介先に届出を依頼しているのが10箇所、場合によるが3箇所であった (図14)。HIV迅速検査に使用しているHIV検査試薬については、ダイナスクリーン・HIV-1/2 (以下ダイナスクリーンと略) が25箇所、エスプライン HIV Ag/Ab (以下エスプラインと略) が5箇所、両方使用が11箇所であった (図15)。両方と答えたクリニックでは、感染リスクからの期間によって使い分けられているとの回答が多かった。HIV検査費用につ

いては、HIV抗体検査は3,000円～8,640円 (中央値5,000円)、HIV抗原抗体検査は2,160円～10,800円 (中央値4,950円)、HIV-1 NATは1,400～17,280円 (中央値10,400円) であった (図16)。HIV迅速検査を実施するケースについて聞いたところ (複数回答可)、患者さんが希望した時に実施するクリニックが40箇所 (98%)、性感染症を診断した時に実施するクリニックが13箇所 (32%)、その他HIV感染を疑う場合にも実施している施設が6箇所 (15%) であった (図17)。

D. 考察

本研究の3箇年において新たに9箇所が研究協力クリニックとして加わり、合計41箇所となった。特に2014年は、埼玉県において県庁担当者が当研究事業に関心を持ち、クリニック連携に積極的に取り組んでいただいたことから、2箇所のクリニックが新たに加わった。今後、他自治体との協力も期待できる事例であった。

即日検査数は新規クリニックの加入により年々増加し、2014年は2012年に比べて14%増であったが、陽性率はほぼ横ばいであった。東京のその他クリニック (主にSTIクリニック) でも4箇所の新規クリニックが加わり、検査数は16%増となったが、陽性数は13%減、陽性率は0.21ポイント減となった。しかし依然として陽性率は0.6%と高い傾向にあり、引き続き動向を注視していきたい。CSWの定期検診が中心の婦人科クリニック・女性STIクリニックでは、3年間で陽性数は0件であり、日本におけるCSWのHIV感染率の低さが示唆された。

偽陽性率については、2012年は0.36%であったのが、2014年0.18%と半減しており、それに伴い、陽性的中率は2012年の54%から2014年66%と12ポイント向上していたことから、質の高い検査環境になっていると考えた。

クリニックにおける確認検査の陽性例の結果受け取り状況や保健所への届出等のフォロー状況については、おおむね良好と思われた。確認検査を受け取った人の92%は、その後の経過もフォローされており、多くの陽性者を早期のHIV治療に結びつけたことは、検査提供施設として十分な役割を果たしていると思われる。

迅速検査試薬については、ダイナスクリンとエスプラインの現在2試薬が使用可能となっている。クリニックでの使用試薬はダイナスクリンが25箇所、エスプラインが5箇所、両方使用しているクリニックも11箇所あった。両方使用の11箇所は、受検者の感染リスクから検査までの時期によってダイナスクリンと使い分けていた。ダイナスクリンは第3世代試薬、エスプラインは第4世代試薬であることから、感染リスクから検査までの期間が短い場合にエスプラインを使用する傾向にあるが、2つの迅速検査試薬の陽転時期の差は5日～1週間程度であること、感染リスクより1か月未満の場合は検査で陰性になることも多いことから、判定が陰性であった場合には、3ヶ月以降の再検査について受検者に勧めることを確認する必要があると思われた。

民間クリニックは有料にも関わらず多くの受検者が即日検査を受けており、医療機関であることの安心感や場所・受付時間帯の利便性等から、検査希望者にとって検査を受けやすい施設の一つとなっている。STIクリニックは他の性感染症に罹患している人も多く来院し、医師が直接患者を診察することでHIVの早期発見に繋がる可能性が高いことから、医療機関における即日検査の導入は非常に効果的であると思われる。今後も研究協力クリニックを増やしていくとともに、感染リスクが高い層への検査誘導や作成資材「開業医だからこそできるHIV即日検査」を用いたPITCの強化等を積極的に行っていきたい。

E. 研究発表

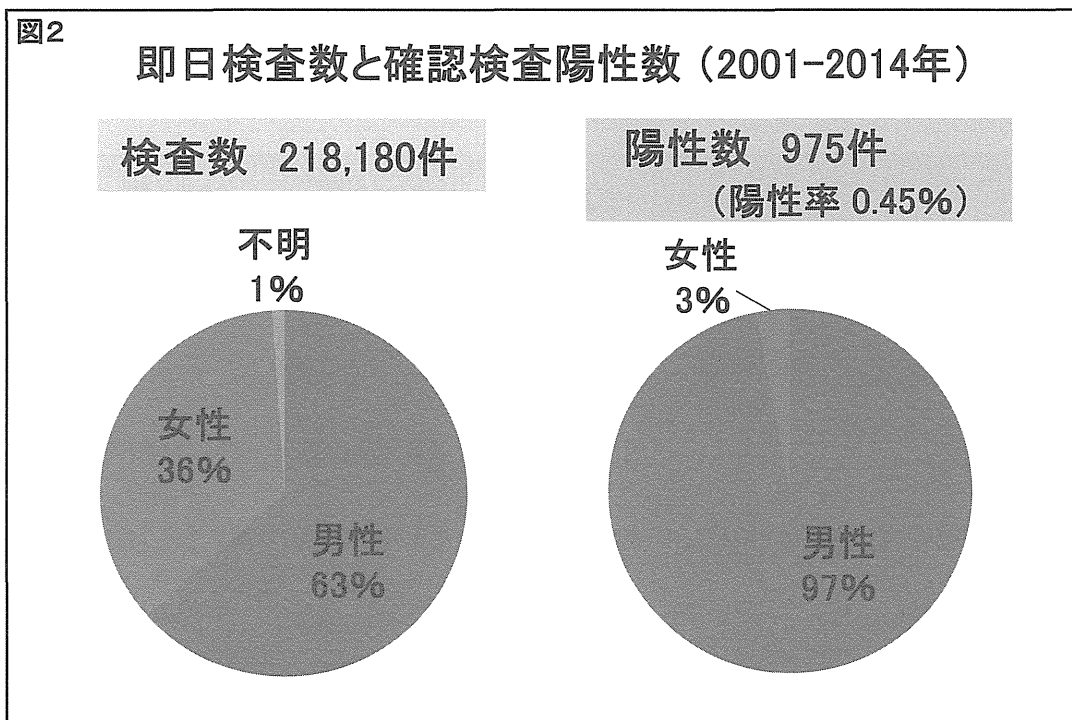
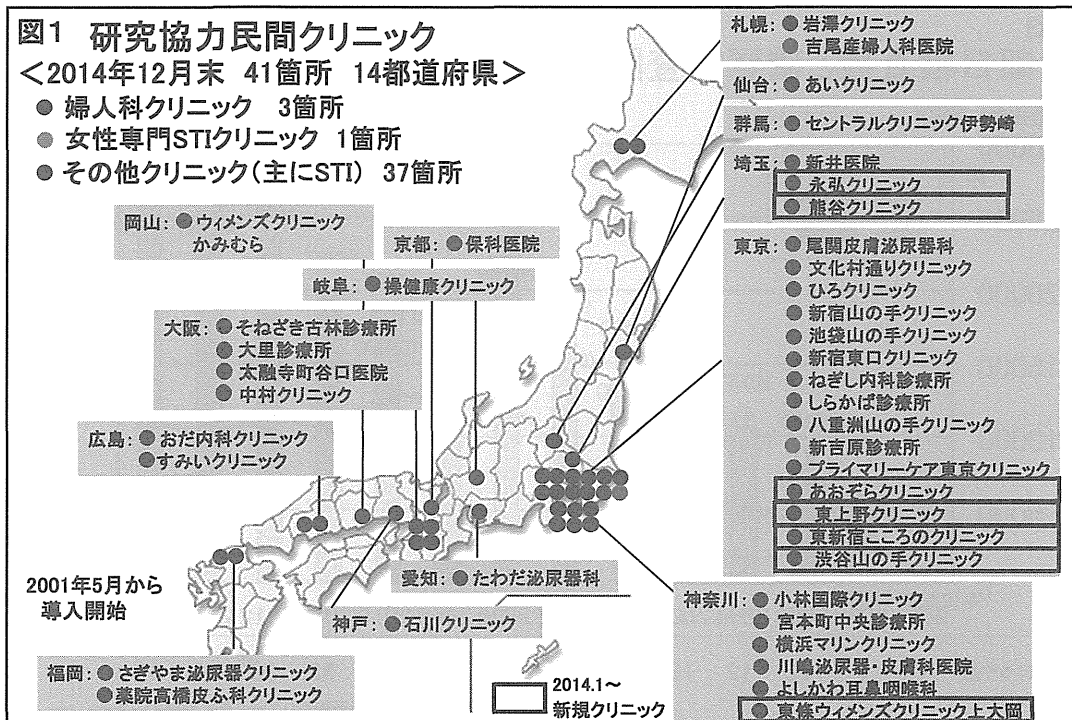
原著論文

1. 井戸田一朗、加藤康幸、畑寿太郎、都内診療所における男性性感染症患者のHIV陽性率、日本性感染症学雑誌 23:90-93、2012
2. 井戸田一朗、星野慎二、沢田貴志、佐野貴子、上田敦久、加藤真吾、今井光信、コミュニティセンター「かながわレインボーセンターSHIP」の夜間HIV/STIs即日検査相談を受けたmen who have sex with menの特徴及び罹患率、日本公衆衛生雑誌. 60:253-261. 2013
3. 井戸田一朗、自動化法によるRPR測定を用いた梅毒患者の治療効果判定について、感染症学雑誌. 88:275-278. 2014

学会発表

1. 井戸田一朗、MSMと性感染症。第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
2. 井戸田一朗、HIV診療におけるアディクション。第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
3. 井戸田一朗、都内一診療所における、MSMの年間HIV罹患率の推移。第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
4. 井戸田一朗、民間クリニックにおける院内自発検査の推進。第26回日本エイズ学会学術集会・総会、横浜市、2012年
5. 井戸田一朗、星野慎二、佐野貴子、近藤真規子、金子典代、ハッテン場におけるHIV感染リスク低減に向けた意識行動調査。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本市、2013年
6. 井戸田一朗、加藤康幸、青柳東代、相崎英樹、脇田隆字、しらかば診療所で経験した、HIV陽性者における急性C型肝炎の集団発生について。第27回日本エイズ学会学術集会・総会、熊本市、2013年

7. 井戸田一朗、梅毒はどのくらい増えているのか？第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪市、2014 年
8. 井戸田一朗、星野慎二、佐野貴子、近藤真規子、金子典代、ハッテン場における HIV 感染リスク低減に向けた意識行動調査(第 2 報)。第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会、大阪市、2014 年



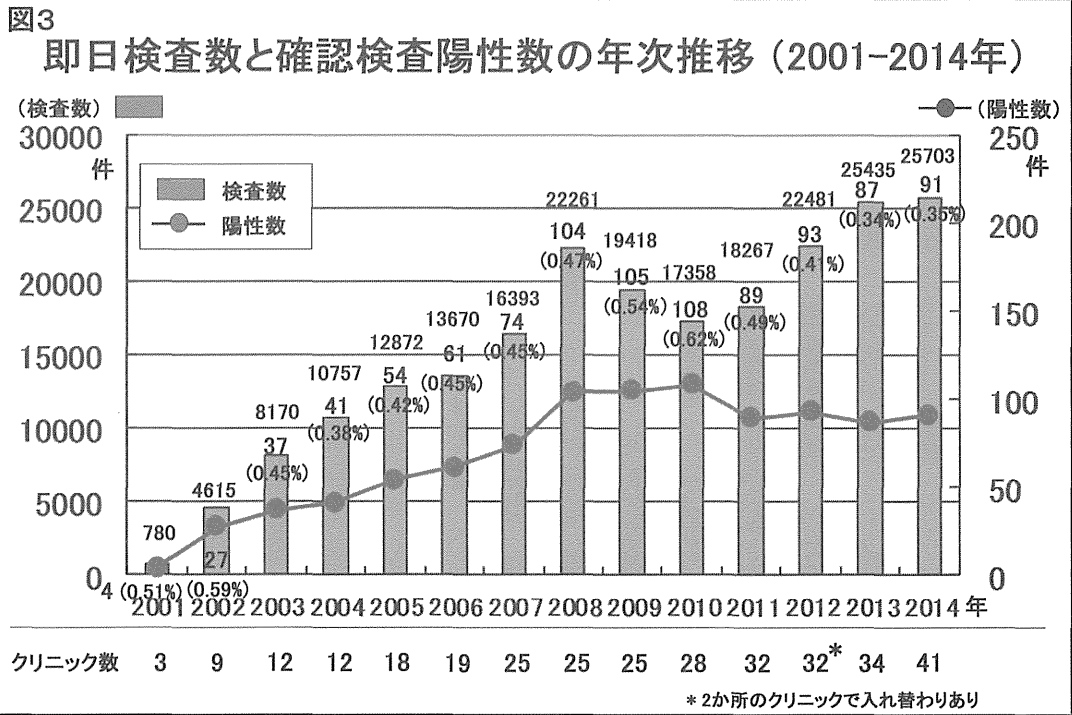


図4
即日検査結果集計（2012-2014年）

	2012年	2013年	2014年
検査数	22,481	25,435	25,703
即日検査判定保留数	173	138	138
確認検査陽性数 (陽性率)	93 (0.41%)	87 (0.34%)	91 (0.35%)
偽陽性数(偽陽性率)	80 (0.36%)	51 (0.20%)	47 (0.18%)
陽性的中率	54%	63%	66%